

# 地域密着型金融の取組み状況

## 平成22年4月～平成23年3月

平成23年6月

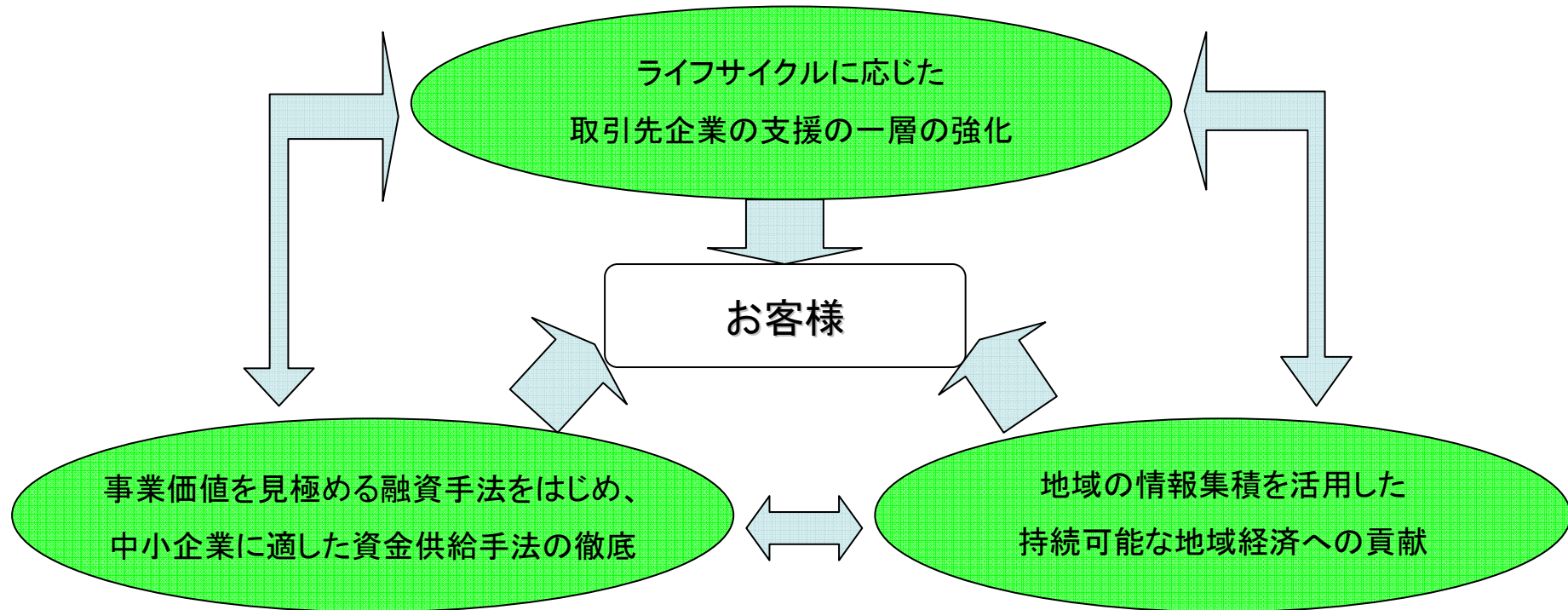


# 目次

1. 平成22年度地域密着型金融の取組み . . . . . 1
2. 平成22年度地域密着型金融の取組み成果 . . . . . 2
3. 地域密着型金融に関する取組み事例 1 . . . . . 3
4. 地域密着型金融に関する取組み事例 2 . . . . . 4
5. 地域密着型金融に関する取組み事例 3 . . . . . 5
6. 地域密着型金融に関する新たな取組み . . . . . 6
7. 経営改善支援の取組み実績 . . . . . 7

# 1. 平成22年度地域密着型金融の取組み

当行の平成22年度地域密着型金融は第11次長期経営計画の最終年度であり、アクションプランの確実な取組みとともに、中小・金融機関向け監督指針を中心として取り組んで参りました。また、中小企業金融円滑化法により地域密着型金融に磨きを掛けるべく、コンサルティング機能の充実に努めています。



## 2. 平成22年度地域密着型金融の取組み成果

### (1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

- ◆「高度差4,000」への参画…地域密着型金融に関する取組み事例1(3頁参照)
- ◆NPO法人への支援…公益信託「富山ファーストバンク社会福祉基金」による助成(22年度14件347万円 うちNPO法人4件96万円)
- ◆研究機関や支援機関との連携…FITネット商談会の参加(ブース展示、技術相談)、中小企業基盤整備機構後援によるセミナー開催(120名参加)
- ◆制度融資を活用した取組み…ファースト50の積極的な取組み(制度融資とプロパー融資の協調融資制度の提供)
- ◆企業個別相談会の開催…地域密着型金融に関する取組み事例2(4頁参照)
- ◆中小企業応援センター事業への参画…地域密着型金融に関する新たな取組み(6頁参照)

### (2) 事業価値を見極める融資手法をはじめ、中小企業に適した資金供給手法の徹底

- ◆信用保証協会保証の制度融資とプロパー資金の組合せによる資金繰り支援
- ◆業種別の専門知識習得のための態勢整備…業種別審査マニュアルを追加、特殊業種の専門性向上
- ◆企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み…経営改善支援取組み向上を目指し営業店臨店指導研修を実施(12回、34店舗185名参加)、審査能力向上を目指し「審査部トレーニー」を実施(3回、12名参加)

### (3) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

- ◆「FITネット商談会」…地域密着型金融に関する取組み事例3(5頁参照)
- ◆ビジネスクラブによる各種経営情報の提供…中小企業向けの各種経営情報を会員向けに毎月インターネット、FAX、CDIによる情報を発信
- ◆省エネルギー化を目指す地域企業に対する支援…国内クレジット制度利用に対する同認証委員会のCO2削減計画承認(2件)
- ◆経営者研修会の開催…経済産業省のIT経営応援隊事業として、IT活用による経営計画の策定に関する研修会を開催(15社参加)
- ◆小学校などへの「紙芝居による金銭教育の出前教育」の開催…29校で延べ52回、1,860名の児童を対象に実施
- ◆中小企業動向調査の継続実施…3ヶ月毎の継続実施、年間4回の発刊

# 3. 地域密着型金融に関する取組み事例1

## 富山大学/地域再生塾「高度差4000」への参画

- 富山大学と連携し、「富山の自然環境を活かした環境ビジネスの研究、事業化支援」を行う事業です。
- 当行は民間等共同研究員として参加し、講義運営、参加企業サポート等の実務運営および参加企業のビジネスプラン作成のサポートを行っております。
- 21年12月～22年9月で計29回（初級コース17回、中級コース12回）開催し、10社に参加頂きました。
- 参加企業は中級コースの終了時にビジネスプランを作成し、当行はそのビジネスプラン作成の支援を行いました。
- 参加企業の1社が富山県の地域資源ファンドの認定を受け、富山市ビジネスプランコンテストの奨励賞や富山商工会議所ヤングカンパニー大賞の奨励賞を受賞されました。



## 4. 地域密着型金融に関する取組み事例2

### ～『企業個別相談会』の開催～

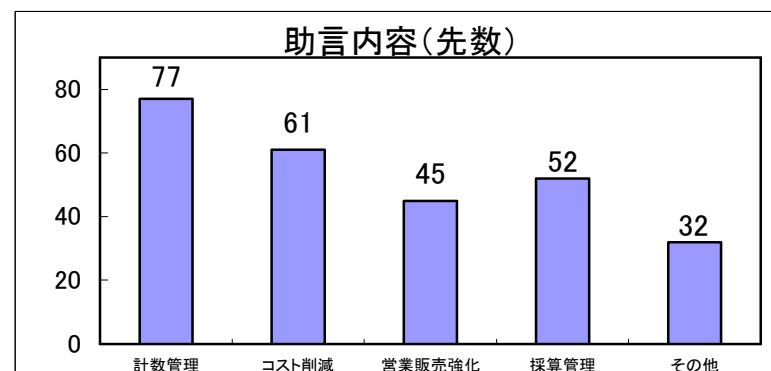
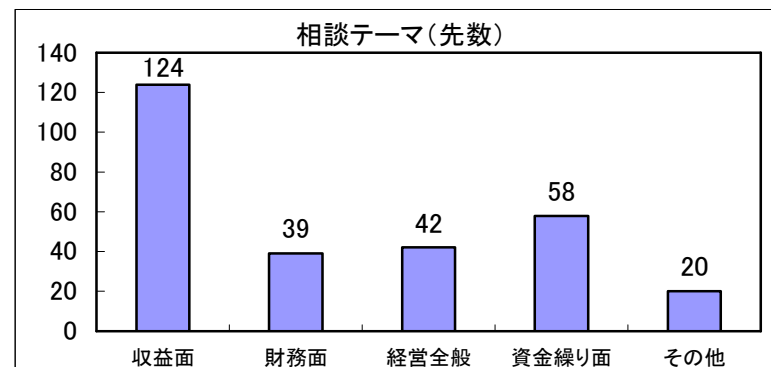
当行では、『第3回企業個別相談会』を22年3月から継続実施しております。

#### 【22年度(22年4月～23年3月)の対応実績】

- 訪問方式：152先
- 会場方式：19先(5会場)
- ※合計171先(取引店ベースで43支店)

◆相談テーマ…収益面124先、財務面39先、経営全般42先、資金繰り面58先、その他20先(合計283先：複数選択有り)

◆助言内容…計数管理77先、コスト削減61先、営業販売強化45先、採算管理52先、その他32先(合計267先：複数選択有り)



※収益改善・財務改善に向けた助言、また金融円滑化に向けた相談対応を実施しました。

## 5. 地域密着型金融に関する取組み事例3

### 『FITネット』商談会の開催

### 「世界に誇る北陸の技」をテーマとしたビジネスマッチング

平成22年11月10日 富山産業展示館にて第6回  
FITネット商談会を開催しました。

FITネット商談会は北国銀行、福井銀行、当行の  
業務提携事業であり、今回は当行が幹事行を  
務めました。

メインテーマを「世界に誇る北陸の技」とし、562社  
がビジネス機会の創造に向け商談を行いました。  
全商談数2,472件、成約数348件の実績がありまし  
た。



# 6. 地域密着型金融に関する新たな取組み

## 中小企業応援センター『とやま中小企業応援ネットワーク』の設置

地域の中小企業団体、地域金融機関、税理士、NPO等の中小企業支援機関等の経営支援能力を補完・強化することを通じて、中小企業の新事業展開、創業、事業再生、再チャレンジ、事業継承等の高度・専門的な経営課題を支援すべく設置しました。富山県内および石川県内の全支店を対象に経営相談会を32回開催し、136件の相談を受け付けました。その中で専門家の派遣を48先に実施し、経営革新計画の承認4件、富山県地域資源ファンドの認定1件の成果がありました。

### 事業内容

- (1) 名称 とやま中小企業応援ネットワーク
- (2) 構成法人 当行、北陸銀行
- (3) 具体的な支援課題

#### ○新事業展開支援

- ・経営革新…新たな事業展開に向けた支援
- ・地域資源活用…地域の素材や技術(地域資源)の活用によって、新商品開発や販路開拓、ブランド力構築の支援
- ・農商工連携…農林漁業者との連携によって、新商品開発や販路開拓、ブランド力構築の支援
- ・新連携…異なる分野の事業者が有機的に連携し新たな事業分野開拓に向けた支援

#### ○創業、事業再生及び再チャレンジ支援

- ・創業支援…創業を目指す方に、必要な知識、ノウハウを提供し、各種創業関連施策を活用し、質の高い創業に向けた支援を行う。
- ・事業再生支援…事業再生の支援、中小企業再生支援協議会との連携
- ・再チャレンジ…事業継続の見通しが立たない方に、事業転換や再起業を支援

#### ○事業承継支援

- ・事業継承および事業承継マッチング支援

#### ○ものづくり支援

- ・ものづくりの高度化と事業化を支援

#### ○新たな経営手法への取組支援

- ・ITを活用した経営力強化…IT活用による財務会計の整備を支援
- ・見えない資産の把握・活用…技術や創造力、人脈や信頼等を文書化し、信用力や経営力の強化につなげる

# 7. 経営改善支援の取組み実績

【22年4月～23年3月】

(単位:先数)

	期初債務者数 A	うち 経営改善支援取組み先 $\alpha$	$\alpha$ のうち期末に債務者区分がランクアップした先数 $\beta$	$\alpha$ のうち期末に債務者区分が変化しなかった先 $\gamma$	$\alpha$ のうち再生計画を策定した先数 $\delta$	経営改善支援取組み率 $= \alpha / A$	ランクアップ率 $= \beta / \alpha$	
正常先 ①	6,716							
要注意先	うちその他要注意先 ②	1,426	164	12	142	130	11.50%	7.32%
	うち要管理先 ③	27	1	1		1	3.70%	100.00%
破綻懸念先 ④	125	15		11	15	12.00%	0.00%	
実質破綻先 ⑤	75	1		1	1	1.33%	0.00%	
破綻先 ⑥	57					0.00%	-	
小計(②～⑥の計)	1,710	181	13	154	147	10.58%	7.18%	
合計	8,426	181	13	154	147	2.15%	7.18%	

注) ・期初債務者数及び債務者区分は22年4月初時点で整理  
 ・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含まない。

- ・ $\beta$ には、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載。  
 なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者は $\alpha$ に含めるものの $\beta$ に含めない。
- ・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合は $\beta$ に含める。
- ・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理すること。
- ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めない。
- ・ $\gamma$ には、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載。
- ・「再生計画を策定した先数」=「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」+「金融機関独自の再生計画策定先」